

陸相ノ真意如何
 本件當班開知セザルコトトシ見送ルノ
 態度ヲ取ルベシ
 四 大島大使ヨリ極東處理要領ノ腹案ヲ
 尋ネ來ル
 大島大使ハ帝國現下ノ從ミヲ在ラガルト
 ノ、如シ帝國國力ノ實相ヲ知ラザルモノ、如シ

一 第二課南方作戰ノ兵棋ヲ明日ニカケ行フ
 總長次長出場ス
 當班ニ見學ヲ要ス來ラズハ掛懸シ
 二 連絡會議開催
 果悉外務省提案「泰」中ニテ條件ト
 シ物ヲヨコセ「對英外交案」之レナリ
 右ハ三局長案ナルカ如ク總長會議出場前
 ニ局長説明諒解ヲ求メ來レルモノ次長以下
 參謀本部ハ開知セズ
 上司ノ閣取引ナルカ如シ近衛、豊田、東
 條、及川ノ閣取引ナラン

右對英外交ト併行シ對米外交ハ依然
進メツアルガ如ク八日ニ米回答アリト云フ
當部全然之ヲ知ラズ 次ハ亦然ルガ如シ
總長ハ或ハ知リアルカモ知ラズ
要ハ三國樞軸脫退ノ閣取引ナリ
東條陸相ノ無節操慨歎ニ堪ヘズ
國策ノ大轉換ナラバ宜シク陣容ヲ刷
新スベキナリ
三 平沼ヲロニ遣ヒ輕傷ス
國內ノ騷擾ハ更ニ増大スベシ對外影
響ヲ最モ甚ル

一 昨連絡會議 必スシモ閣取引ニアラザルヲ知リ
稍ト女ハス
陸相總長ハ泰ノ中ニ保障ニ強硬ニ反對セル
カ如ク樞軸離反セザル原則ハ堅持スルモノ
如シ近衛豊田ハ然ラス一時酌ナラバ可ナラス
ヤトテ支柱ナクハ離脱ヲ平然トヤル氣配
濃厚ナリ
二 ストメニシテ仰セノ如クヤルベシト回答ヲ奇セリ
シモ目下ハ中ニ支ヲ築シアルハ明カナリ
三 英ガレギ山外相往訪日英交渉ノ餘地アル
ノ口吻ヲ洩ラセリ 對英外交策(外務省案)

四 英米共同宣言ヲ發表ス
ハ之レニ起因シテ提議セラルルモノナリ

英米ノ戰争目的和平條件ヲ宣言シタルモノナリヤ否ヤ

結局ハ英米ノ世界制覇、自由主義現狀維持ニ依ル世界制覇ニ他ナラズ

何カ自由何カ平和ナリヤ

裏面ニ如何ナル諒解ニ到達シタルヤ不明

米參戰ノ表面の宣言トモ見做シ得ベシ

相變ラス極東ニハ言及セズ對日交渉ノ

餘地ヲ残シテ眞ニ其意圖ナリヤ 謀

略的也スナリナリヤハ不明

五 右宣言ニ關係シテ英對日全面禁輸ヲ發

令ス

英大使ノ外相ニ對スル口吻ト右ト如何ナル關係

係ナリヤ疑問トスベシ

六 平沼 必ズシモ輕傷ヲラザルガ如シ

テロハ更ニ敬發スベシ

七 海軍作戰課ヨリ左記連絡アリタルガ如シ

八月九月更ニ各三ノ不屯船機備

又十月十五日迄ニ戰備完結

又九月二十日陸海作戰協定實施

九月下旬支那ヨリ陸戰隊三大隊ヲ
抽出ス

九月中旬ヨリ(更ニ船五〇万七徵傭ス
(但シ本件未決)

右ハ一体如何ナル決意ニ依ルヤ

海軍ハ決意セザル儘徹底的作戰準備
ヲ行ハントスルヤ

出帥準備ノ演習ヲ行ハントスルニ在ルヤ
不可解至極ナリ

一海軍ヨリ帝國國策遂行方針遂ニ提示シ來ル

正午陸海部局長會議ヲ開催其席上ニ於テ
正式提示ス

之ヨリ先小野田海軍中佐來リ上司ニ於テ起末
セラレアルモノナリトテ筆記セルモノヲ持テ來レリ

二案ノ冒子ハ戰艦ヲ決意スルコトナク戰艦
準備ヲ進メ此ノ間外交ヲ行ヒ打開ノ

途ナキニ於テハ實力ヲ發動トス云フニ在リ

三外交ノ目標ハルニ工作及對英外交ノ要求
貫徹ニアルカ如キモ明確ナラズ
本件結局對米屋伏外交ニ終ルコトナ